

## 第125回 病態生化学セミナー

日時：平成30年7月12日（木曜日）午後6時00分～

場所：医学部講義棟1階 国際交流ラウンジ

演題：Dual モノユビキチンによる DNA メチル化複製制御

Regulation of DNA methylation maintenance by dual mono-ubiquitylated proteins

演者：中西 真 先生

東京大学医科学研究所 癌防御シグナル分野 教授

DNA メチル化は転写やゲノム安定性などを制御するエピゲノム修飾の1つで、分化した細胞は固有のメチル化パターンを持っている。分化細胞は細胞分裂に際してその性質を継承するために固有の DNA メチル化パターンを正確に複製する必要がある。DNA メチル化は DNA 塩基配列と異なり、半保存的複製機構では複製されない。従って、DNA メチル化を複製するためには独自の分子機構が存在すると考えられる。最近 DNA メチル化複製の異常は、がんや老化といった様々な疾患の共通基盤であることが分かってきたが、その複製機構についてはこれまでほとんど解明されていなかった。我々は DNA メチル化複製機構に Dual モノユビキチンという非常にユニークな分子マークが重要な役割を果たしていることを見出し、その分子構造的基盤を明らかにした。本セミナーでは、DNA メチル化複製機構の現状について紹介し、その異常がもたらす生理学的破綻について議論したい。

【中西 真】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp